大商ニュース

10/25（日） 2026 No.1406

編集発行　大阪商工会議所
〒540･0029　大阪市中央区本町橋2番8号
☎06（6944）6324
定価1部132円（送料共）　購読料は会費、負担金に含む
毎月10、25日発行

©大阪商工会議所2026

ホームページアドレス
https://www.osaka.cci.or.jp/

1号議員76人選出

11月から新任期　全議員の改選終了

大阪商工会議所は14日、1号議員選挙の投開票を実施した。今回選挙した1号議員の任期は今年11月1日から2029年10月31日までの3年間で、定数76人に対して77人（法人・団体）が立候補した。投票総数は9万1869票（投票率45・86％）、最高得票数は2612票、当選人中の最低得票数は651票だった。同じ任期の2号議員（各部会で選任された52人）と3号議員（議員総会で選任された22人）は既に今年の5月から7月にかけて選任されている。1号、2号、3号議員で構成する議員総会は11月2日に開かれ、会頭、副会頭、専務理事、常議員、監事が選出される。

■1号議員選挙当選人（立候補届出順）

阪神電気鉄道株式会社
鴻池運輸株式会社
株式会社十川ゴム
日清食品ホールディングス株式会社
住友ファーマ株式会社
津田産業株式会社
株式会社高島屋
江綿株式会社
イオンリテール株式会社
大阪府石油商業組合
株式会社スーパーステーション
株式会社池田泉州銀行
三井住友海上火災保険株式会社
三井住友信託銀行株式会社
コニシ株式会社
岩谷瓦斯株式会社
双日株式会社
ヒゲチ産業株式会社
田村駒株式会社
ロート製薬株式会社
大阪中小企業投資育成株式会社
大阪シティ信用金庫
小泉株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
大起水産株式会社
象印マホービン株式会社
株式会社かんでんエンジニアリング
株式会社ワンズ
一般社団法人大阪外食産業協会
全日本空輸株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
岡安商事株式会社
千房株式会社
株式会社電通グループ
合同会社ユー・エス・ジェイ
大阪文具事務用品協同組合
株式会社銭高組
株式会社関電Ｌ＆Ａ
株式会社大西
株式会社ダイヘン
タカラスタンダード株式会社
株式会社モンベル
大阪府印刷工業組合
株式会社マンダム
大阪市高速電気軌道株式会社
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
太陽工業株式会社
株式会社竹中工務店
近電商事株式会社
株式会社日本ネットワークサポート
辰野株式会社
株式会社ＮＴＴドコモ北港運輸株式会社
大日本除虫菊株式会社
長瀬産業株式会社
日本航空株式会社
オリックス株式会社
阪神高速道路株式会社
株式会社西島製作所
田辺ファーマ株式会社
株式会社ｉ－ｐｌｕｇ
大阪冶金興業株式会社
株式会社大阪取引所
ダイダン株式会社
株式会社フジキン
阪和興業株式会社
大阪ニットファッション工業協同組合
学校法人近畿大学
株式会社小倉屋山本
学校法人常翔学園
中西金属工業株式会社
千里山バス株式会社
小倉屋株式会社
江崎グリコ株式会社
株式会社関西みらい銀行
協同組合関西ファッション連合

12月23日に会員交流大会

大阪商工会議所は12月23日、「2026年度会員交流大会」を開催する。第1部ではサッカー指導者で元サッカー日本代表監督の西野朗氏を講師に迎え、特別講演などを行う。第2部では、会員相互の親睦を深める場として交流パーティーを実施する。

（2面に関連記事）



西野　朗氏

■上位得票者と得票数（10位まで）

①株式会社竹中工務店　2612票
②阪神電気鉄道株式会社　2462票
③阪和興業株式会社　2321票
④大阪府印刷工業組合　2305票
⑤大阪シティ信用金庫　2282票
⑥田辺ファーマ株式会社　2050票
⑦住友ファーマ株式会社　1984票
⑧ロート製薬株式会社　1941票
⑨千房株式会社　1919票
⑩株式会社池田泉州銀行　1827票

【問合せ】会員組織担当　☎6944・6251

＜特集＞中小企業の事業引継ぎ　ハンズオン支援　6
大阪商工会議所が取り組む「事業再生・事業承継支援」について事例を交えて紹介する。
議員紹介・談話室　荒井　敏博氏　2
12月に新事業共創プラットフォームのシンポジウム　2
万博閉幕１周年記念イベントに千人　5



「大阪勧業展2026」に９千人超来場　5
ミラノ・ウッチへビジネスミッションを派遣　5

会員の皆様に大商手帳を進呈



「大商手帳（2027）」（写真）を会員の皆様に進呈します。

大商手帳は年間カレンダーやスケジュール欄、横罫メモ、年齢早見表、路線図などで構成され、コンパクトかつシンプルで使いやすいデザインです。

▼期間：11月２日から来年１月13日まで（在庫がなくなり次第、終了）。
▼冊数：１会員３冊まで。
▼方法：会員部会員組織担当と各支部の窓口でお渡し。お受け取りの際は会員証（2026年度）をご提示ください。郵送の場合、ホームページの申込フォームにアクセスの上、必要事項をご入力ください。着払いでお送りいたします（１冊＝190円、２冊＝230円、３冊＝320円に着払手数料34円を加算）。

問合せ　会員組織担当　☎6944・6274

大商ニュース WEB版
https://www.osaka.cci.or.jp/dnews/
ログインＩＤ　d2026

◆個人情報の取り扱い　大阪商工会議所が主催するセミナーなどの参加申込書にご記入いただいた情報は、大商からの各種連絡・情報提供に利用するほか、講師には参加者名簿として提供します。

GSE2026

先端技術スタートアップの国際イベントが大阪で開催

大商　関連事業実施に注力

大阪府、大阪市、大阪商工会議所など地元自治体や経済団体で構成する「Global Startup EXPO2026実行委員会」は5～7日、世界を代表するディープテックの国際イベント「Global Startup EXPO2026（GSE2026）」を、うめきた、中之島エリアを中心に開いた。これにあわせ大商も「Global Pitch Showdown」、「U-START UP KANSAI2026」のオープンピッチ、「UMEKITA START UP SQUARE2026」など複数のサイドイベントを実施した。



GSE2026オープニングセレモニーで大商の鳥井信吾会頭（前列右から2人目）らが記念撮影に臨んだ＝5日、大阪市北区

セレモニーでは、大商の鳥井信吾会頭があいさつに立ち、「重要なのはこの3日間、たくさんの連携の種が蒔かれ、イベントが終わった後にどれだけの花が開くか。未来の新価値創造につなげていこう」と多様な主体がふれあうことによるイノベーションの創出への期待を語った。

大学発SU事業展開支援プログラム

CES2027出展企業を決定

大阪商工会議所と関西イノベーションイニシアティブは、「U-START UP KANSAI2026」のオープンピッチ（最終審査会）を8日、大阪市内で開催し、世界最大のテクノロジー見本市「CES2027」への出展権をはじめとする副賞受賞者を決定した。これはGSE2026のサイドイベントの一つ。

同プログラムには、大学発スタートアップなどから75件のエントリーが寄せられ、書類審査を通過した10者がオープンピッチに臨んだ。

事業会社や金融機関など約170人の参加者が見守る中、各者のプレゼンが行われ、Kanaria Techが2027年1月に開催される「CES2027」への出展権を獲得した。また、静岡大学発スタートアップのSUiCTEが、コワーキングスペースなどの利用権が付いたナレッジキャピタル賞を受賞するなど、事業成長を後押しする多様な副賞が提供された。

会場では、スタートアップとの連携に関心を持つ事業会社17社による「共創パートナー」などとのネットワーキングイベントも実施。スタートアップ、事業会社などが集い、新たな共創の機会を創出する機会となった。

【問合せ】産業・技術振興担当　☎6944・6300



記念撮影するオープンピッチの登壇者、審査員＝8日、大阪市北区

スタートアップの技術、サービス体験イベントに約3900人来場

大阪商工会議所は関西イノベーションセンター（MUIC Kansai）、大阪産業局、堺市、池田泉州銀行、読売新聞大阪本社、スタートアップエコシステムコンソーシアム（事務局＝大阪産業局）と共同で、6～7日、グランフロント大阪ナレッジキャピタルで事業会社17社による「共創パートナー」などとのネットワーキングイベントも実施。スタートアップ、事業会社などが集い、新たな共創の機会を創出する機会となった。

【問合せ】産業・技術振興担当　☎6944・6300

オープニングセレモニー

鳥井会頭があいさつ

5日に開催されたGSE2026オープニングセレモニーで大商の相良暁副会頭、MedTech Actuatorのヴィシャル キショアＣＳＯ、バズ パーマーＣＥＯ、最優秀賞（大商賞）を受賞したSMILE CURVEのボルジャー莉愛グローバルアウトリーチ



（左から）記念撮影する大商の相良暁副会頭、MedTech Actuatorのヴィシャル キショアＣＳＯ、バズ パーマーＣＥＯ、最優秀賞（大商賞）を受賞したSMILE CURVEのボルジャー莉愛グローバルアウトリーチ





㊤開会あいさつに立つ大商の鳥井信吾会頭　㊦閉会あいさつに立つ木村徹ライフサイエンス振興委員長＝いずれも6日、大阪国際会議場（大阪市北区）

医療系スタートアップが競う

国際ピッチコンテストの世界決勝

昨年に続き大阪で開催

大阪商工会議所は6日、提携するメドテック（医療技術）専門アクセラレータ「MedTech Actuator」とともに、医療・健康分野の課題解決に挑むスタートアップによるピッチコンテストの世界決勝「Global Pitch Showdown」を昨年に続いて大阪市内で開いた。国内外27カ国117社から選び抜かれた8社が登壇した。

医療関連企業、医療従事者、国内外の投資・金融機関、在日海外公館ら209人が来場。大商の鳥井信吾会頭は開会あいさつで「スタートアップは経済の出発点。その原点にあるのは、イノベーションへのあらゆる企業はスタートアップから始まった」と述べた。

8社は英語でプレゼンを行い、「視神経周辺の圧力差を是正する緑内障インプラント」など、世界の医療課題に応える技術、アイデアを披露した。最優秀賞（大商賞）には、被曝せずに側弯症の早期発見を補助する3Dスキャンシステムを開発したSMILE CURVE（東京都板橋区）が選ばれ、賞金500万円を獲得。相良暁副会頭から、サインボードが授与された。

木村徹ライフサイエンス振興委員長は閉会あいさつで「万博レガシーとして、グローバルエコシステムの構築に向けて一丸となって取り組んでいく」と締めくくった。

【問合せ】ライフサイエンス振興担当　☎6944・6484



㊤オープニングセレモニーであいさつに立つ大商の立野純三副会頭が主催・共催団体を代表してあいさつし、「アイデアを形にすること、それを見て・触ってもらうこと、その反応を製品のさらなる改善に活かすことが万博レガシーにつながる」と期待を込めた。

また、イベントには国内外から19社のスタートアップが出展し、2日間で約3900人が来場した。

【問合せ】産業・技術振興担当　☎6944・6300

㊦オープニングセレモニーであいさつに立つ大商の立野純三副会頭㊦国内外から19社のスタートアップが出展した＝6日、大阪市北区

マクロミクロ

難しくて楽しい広告

鉄道車両の広告が昔と違う。中吊りは鉄道会社関係が多く苦戦を感じるが、車両ジャックのような集中広告も増えた。スマホばかり見ている乗客の目を引くには、インパクトが必要なのだろう。

一方、ドア付近は、乗降でスマホから目を離す場所だけに、広告集めも健闘しているように見える。

大型集客事業を担当していて、いろいろな種類の広告を出すのだが、選ぶのが難しい。

会場が決まっているので、交通広告は来場経路の駅に出す。ポスターに加え、近年はサイネージ広告が増えてきた。モニターがいくつも並んでいるのだが、画面別には枠を買えず、「〇分毎に〇秒」の時間枠を買って、全画面同じ広告が出るのである。ここでもインパクト勝負なのか。実際に自分が出した広告が多くの画面に映ると、ちょっとした感動がある。

スマホやパソコン向けのネット広告は、年齢や役職別に表示対象を設定できるのが魅力だ。

加えて新聞折込広告も、反応があり欠かせない。今このコラムを読んでくださっているあなた、紙の新聞もまだまだ有望ですよ。本紙にも広告ご出稿いただけます。

（た）

大阪商工会議所 Facebook
https://www.facebook.com/osakacci/

大阪商工会議所 Instagram
@osaka.cci

大阪商工会議所 取引先開拓Ｘ
@mail04osakacci

新事業共創プラットフォーム

中小・新興の新事業社会実装

12月2日 シンポジウムで議論

大阪・京都・神戸の3商工会議所は12月2日、「新事業共創プラットフォーム シンポジウム 中小・スタートアップが世界を狙う新事業を生み出す道筋」を開く。万博レガシーの具体化に向け、中小・スタートアップの新技術・サービスの社会実装を支援する「新事業共創プラットフォーム」事業の一環。大商の立野純三副会頭をはじめ中小企業・スタートアップの経営者、支援者が登壇し、関西の中小企業・スタートアップの新事業の社会実装について議論する。

同シンポジウムでは、立野副会頭に続き、「新事業共創プラットフォーム」のスペシャルアドバイザーを務めるさくらインターネットの田中邦裕社長が、関西から新事業を生み出していくことの重要性や、イノベーション創出に向けた関西のポテンシャルについて基調講演する。パネルディスカッションでは、ATTO&Co.の足立崇彰社長（元日本郵政キャピタル社長）のモデレートのもと、田中社長、同じくスペシャルアドバイザーの産業革新投資機構の瀬口二郎社長、立野副会頭、大阪・関西万博に出展しさらなる飛躍を目指すHACARUSの染田貴志社長、大学発シーズの社会実装・事業化に取り組む神戸大学の喜多隆理事・副学長が登壇。「万博レガシーに期待すること」をテーマに、万博を契機に高まっている中小・スタートアップの新事業創出の動きをどのように具体的なレガシーにつなげていくか、事業会社や支援機関との協業の重要性などについて、各々の視点から議論する。

名刺交換・交流会では、関西のフードテックスタートアップの試食プースを出展するなど、スタートアップが開発する最先端のサービスや商品に触れられる機会も設ける。グランゲリーン大阪（市北区）で。

【問合せ】産業・技術振興担当☎6944・6300

▼詳細はこちら

新事業の社会実装を目指す 中小企業・スタートアップ

12月18日まで募集

大阪・京都・神戸の3商工会議所は12月18日まで、「新事業共創プラットフォーム」のアクセラレーションプログラムとして、万博で披露されたような、中小企業・スタートアップの新たな技術やサービスを募集すると発表した。

応募案件は、「新事業共創プラットフォーム」のスペシャルアドバイザーら関連分野の有識者が「新規性・独自性・優位性・革新性・国際性」「社会的インパクト・意義」「社会実装の実現性」「事業化への熱意」の4基準で審査する。

来年2月ごろの書類審査と3月ごろのオープンピッチを経て5件程度を選定し、4月から事業会社や支援機関などで構成する「支援パートナー」との協業や、スタートアップ起業の経験者などの「メンター」による伴走などによって、5年を目途に社会実装（上市）を支援する。

【問合せ】産業・技術振興担当☎6944・6300

▼詳細はこちら

新事業共創プラットフォーム

コミュニティ交流会 第1回を開催 第3回は11月6日

大阪商工会議所は京都・神戸の商工会議所とともに10月15日、NORI（大阪市北区）で、新事業共創プラットフォーム第1回コミュニティ交流会「新規事業で新たな収益の柱を作る 共存共栄の価値創造」を開催した。


第1回には松山工業の鵜久森洋生社長が登壇した＝15日、大阪市北区

これは「新事業共創プラットフォーム」の一環で、新事業創出を目指す人と応援する人のネットワーク拡大が目的。

第1回は松山工業の鵜久森洋生社長が登壇し、自身が直面した新規事業開発の苦しさや、それを経て体得した「ご縁を大切にすること」「泥臭い一歩を踏み出す勇気」「経験を積み重ねること」などの新規事業創出におけるポイントを語った。

10月28日には第2回「パネル懇談 万博発！新事業の実装を目指す企業の取り組み」を開催するのに続き、11月6日には第3回「新規事業開発のプロが語る〝思いつき〟から走り出す事業化のメソッド」を開催する。ティッピングポイントの浦野隆好社長が、新規事業につながる良質な思いつき（気づき）を得るための意識や、アイデアから仮説、検証、見直し、事業化までのプロセスについて、40年以上新規事業に関わってきた経験をもとに語る。午後3時～5時30分、大阪イノベーションハブ（同）で。名刺交換・交流会に加え、終了後に懇親会も設ける。

【問合せ】産業・技術振興担当☎6944・6300

▼第3回の詳細はこちら

グリーン分野の最新技術が大阪へ

韓国とNZから新興8社 日本企業との共創めざす

「石から水素をつくる」「木から道路をつくる」「希少金属を使わずにグリーン水素をつくる」――。「これまでの常識をひっくり返す」グリーンテック分野の最新技術・サービスを持つスタートアップがこのほど、大阪に集まった。

大阪商工会議所は7日、大阪市内で「Osaka Springboard2026 GSE編 Asia-Pacific Greentech Edition」を「Global Startup EXPO2026」のサイドイベントとして開催した。

韓国から3社、ニュージーランドから5社のスタートアップが登壇。日本企業との連携を見据え、各社が自社の技術やサービスをピッチ形式で紹介した。そのほか、アジア・太平洋地域と日本のスタートアップ・エコシステムをどうつなぐかをテーマにしたパネルディスカッションも実施。

参加者からは、「海外の新たな技術やサービスを知ることができた」「ぜひ個別に商談したい」といった、具体的なビジネス連携への期待の声が寄せられた。

【問合せ】産業・技術振興担当☎6944・6300

世界最前線のイノベーション

大阪で触れる機会に 100人

大阪商工会議所は、大阪産業局、大阪府、Counter Club Japanと共催で6日、「関西オープンイノベーション勉強会（10月特別回）」を大阪市内で開催した。

O2026」のサイドイベントとして開催。シリコンバレーの第一線を走る日系グローバル企業の投資・新規事業リーダー陣であるKYOCERA Venturesの小泊建二氏と三井化学321Catalyst Venturesの塚本美帆氏が表舞台では語られない実践知やリアルな決断の裏側について講演した。

オープンイノベーションや新規事業に関心のある約100人が参加。参加者からは「グローバルな環境でどのように新規事業立ち上げや投資の意思決定を行っているのかを知る良い機会となった」という声が寄せられた。懇親会ではオープンイノベーションや新規事業の関心のある参加者同士の交流が活発に行われた。

【問合せ】産業・技術振興担当☎6944・6300

同プログラムは関西のオープンイノベーションを加速させる実践コミュニティで、今回は「Global Startup EXPO2026」のサイドイベントとして開催した。

大阪商工会議所は、参加費8000円。定員は第1部600人、第2部250人（申込先着順）。会員限定。

【問合せ】会員組織担当☎6944・6277

▼詳細はこちら

会員交流大会

12月23日に

元サッカー日本代表監督の西野朗氏が講演


西野　朗氏

大阪商工会議所は12月23日、「2026年度会員交流大会」を開催する。（1面参照）

第1部では、サッカー指導者で元サッカー日本代表監督の西野朗氏を講師に迎えて、特別講演を行う。このほかに今年、新入会員を多数紹介いただいた「組織基盤強化貢献者」への感謝状贈呈式や、大阪の地域経済・産業振興に多大な貢献を果たした方を表彰する「大阪活力グランプリ2026」の表彰式も実施する。

第2部では、会員相互の親睦とビジネス交流を深める場として立食形式での交流パーティーを実施する。

午後3時30分～7時、大商で。第1部は参加無料。第2部の交流パーティーは、参加費8000円。定員は第1部600人、第2部250人（申込先着順）。会員限定。

【問合せ】会員組織担当☎6944・6277

▼詳細はこちら

「令和8年熊本地震」災害支援金 ご協力ありがとうございます

大阪商工会議所で実施いたしました「令和8年熊本地震」災害支援金の結果は、次の通りとなりげます。

ました。

ご協力いただきました皆様に、厚く御礼申しあ

◇お預かりした支援金額：1113万円

◇寄贈先：被災商工会議所および商工会議所連合会

◇使途：被災事業者の事業再開および事業継続に向けた支援、被災商工会議所の復旧・活動支援など

【問合せ】総務担当☎6944・6215

談話室

大阪ニットファッション工業協同組合理事長 荒井 敏博（あらい としひろ）氏



「世界最高の技術　日本繊維産業の復活を目指す」

所属会社の安泰ニットは、通販事業者向けのニット、カットソー製品の企画・提案・製造を主体に、自社ブランドでのネット通販も行う。

1947年以来、本社を構えていた大阪市旭区から今年、同市北区西天満に移転した。心機一転、創業の地（西区 靭）の近くに戻った拠点で、業容拡大を目指す。

日本繊維輸入組合によると、2025年に国内で供給された衣料のうち、国産は数量ベースで、わずか1・1%だった。

「衣食住」は、国民生活を支える3大要素。「食」さを、製品輸出を取り戻したい」

タテの協業ばかりでなく、同業同士のヨコの動きもあるという。染色など、日本の技術は世界最高なので、日本の復権につなげたい」と。

座右の銘は「老驥櫪に伏すとも志千里に在り」。中国・三国志、魏の曹操が詠んだ「歩出夏門行」という詩の一節で、駿馬（驥）は年老いて厩（櫪）で横になっても、千里をゆく志は保っている、との意だ。毎日、これを読んで、意思を保つ術（すべ）にしている。

寄り、日本だけでなく、世界の消費者にMADE IN JAPANの良

（細）

中小企業景況調査

第185回の結果

大阪商工会議所は「第185回中小企業景況調査」の結果を取りまとめた。同調査は四半期ごとに実施しており、今回は8月19日～9月6日に大阪市内の252社から回答を得た。

同調査によると、7～9月期の自社業況DI値（「好転」から「悪化」を引いた指数）はマイナス13・1と前回調査から1・9ポイント上昇した。売上額DI値はマイナス6・0（前回調査から1・3ポイント低下）、資金繰りDI値はマイナス13・5（前回調査から1・3ポイント低下）、従業員数過不足DI値はマイナス17・9（前回調査から3・3ポイント低下）となった。

「経営上の問題点」では、「仕入れ単価の上昇」が小売業で17期連続、卸売業で10期連続第1位。製造業では前回調査に引き続き「原材料価格の上昇」が第1位となった。また、サービス業では「利用者ニーズへの対応」に加えて「材料等仕入れ原価の上昇」が第1位となり、引き続き原材料価格や仕入れ原価の上昇が経営上の課題になっている。

【問合せ】経営相談室☎6944・6451

▼詳細はこちら

常議員会開く

大阪商工会議所は16日、第30回常議員会を開き、①理事の選任の同意②会員加入③委員会の設置（案）④定款の一部変更（案）⑤第1回臨時議員総会に上程する議案⑥退任役員への感謝状贈呈――について審議し、了承した。

また、①2026年度1号議員選挙の結果②大阪商工会議所×UR都市機構まちなかリビングラボプロジェクト第2弾「大阪城東部地区（UR森之宮ビル『ほとりで』等）での実証実験」の実施③「新事業共創プラットフォーム」の事業開始④「令和8年熊本地震」災害支援金の報告――について報告した。

◇

なお、常議員会後の会員数は法人2万3525、団体1027、個人837の合計3万2926となった。

知的財産を読み解く

<108>

地域ブランド③

大阪府での登録は11のブランド

杉本特許事務所
所長・弁理士　杉本 勝徳



特許庁で登録された地域団体商標（地域ブランド）の登録状況を北海道から順番に紹介する。まず大阪の一覧を取り上げる。2026年8月1日現在のものを列挙する。

①泉だこ（大阪府漁業協同組合、指定商品『大阪府内で加工したゆでだこ』）

②和泉木綿（泉州織物工業協同組合、指定商品『泉州で製織された綿織物』）

③大阪泉州桐箪笥（大阪泉州桐箪笥製造協同組合、指定商品『泉州で製造された桐製の箪笥』）

④大阪仏壇（大阪宗教用具商工協同組合、指定商品『大阪製法により製造された仏壇』）

⑤大阪欄間（大阪欄間工芸協同組合、指定商品『大阪産の木製彫刻欄間』）

⑥堺打刃物（堺刃物商工業協同組合、指定商品『堺周辺由来の技術で製造された刃物』）

⑦堺線香（堺線香協同組合、指定商品『堺産の線香』）

⑧堺刃物（堺刃物商工業協同組合、指定商品『堺周辺技術で生産された包丁・鋏』）

⑨泉州タオル（大阪タオル工業組合、指定商品『泉州産のタオル』）

⑩泉州水なす（大阪泉州農業協同組合、指定商品『泉州地域の水なす』）

⑪八尾若ごぼう（大阪中河内農業協同組合、指定商品『八尾市産の若ごぼう』）

次回からは北海道から順次紹介する。

大商ビジネススクール

2026年11月～2027年１月開催の講座・研修

研修・採用支援担当☎6944・6421
kensyu2@osaka.cci.or.jp
場所は原則、大商で。

人に伝える極意とその手法を学ぶ！
伝わるプレゼン１日集中講座【実践編】

大阪商工会議所は、「伝わるプレゼン１日集中講座【実践編】」を開催する。

用意してきたプレゼンを練習しながらスキルアップを目指す実践型セミナー。内容構成やスライドデザイン、話し方などを講師や他受講者からの改善アドバイスで、さらに伝わるプレゼンができるようになる。事前課題あり。


西原猛氏

講師は、日本プレゼンテーション教育協会の西原猛代表理事。12月３日午前10時30分～午後５時30分。ワンストップビジネスセンター大阪本町（大阪市西区）で。

ISO14001:2026内部監査員を1日で養成!合格者には修了証書を発行
ＩＳＯ１４００１内部監査員研修

大阪商工会議所は、「ＩＳＯ14001内部監査員研修」を開催する。

環境マネジメントシステムＩＳＯ14001は、組織の活動における環境との関わりを明確にし、日常業務において管理可能な環境活動を行うことで、ＳＤＧｓやカーボンニュートラルを含めた組織に求められる環境対応が具体化できる。

同研修では、ＩＳＯ14001の仕組みを解説するとともに、要求事項の内容や監査方法について演習を交えて理解する。


橋本佳和氏

講師は、エルアンドピーネットワークの橋本佳和代表取締役。12月３日午前10時～午後５時。

契約トラブルを未然に回避する！
契約のしくみと法律実務基礎講座

大阪商工会議所は、「契約のしくみと法律実務基礎講座」を開催する。

営業や法務・経理担当社員向けに、多くの訴訟や紛争を経験し、企業法務の実務に日頃から関わっている弁護士が、よくある失敗例や残念な条項例を紐解き、法律や契約における「モノの見方・考え方」（規範的思考力）、「立証の智慧と工夫」のノウハウをわかりやすく伝授する。


鳥山半六氏

講師は、色川法律事務所の鳥山半六弁護士・弁理士。12月８日午後１～５時。

円滑にコミュニケーションを図るためのビジネスマナーを学ぶ
新入・若手社員　ビジネスマナーの基本講座

大阪商工会議所は、「新入・若手社員　ビジネスマナーの基本講座」を開催する。

社会人としての第一歩は、良好な人間関係と信頼の構築から始まる。基本的なビジネスマナーに加え、職場での良好なコミュニケーションの方法を、豊富な演習を交えながら即実践できるスキルとして習得する。


渡邊暁美氏

講師は、日本プレゼンテーション教育協会の渡邊暁美氏。12月10日午前10時30分～午後５時30分。ワンストップビジネスセンター大阪本町（大阪市西区）で。

数字を見える化したら業績が挙がるという命題を数字の見せ方と見方から解説!
強い会社を作る経営幹部の数字の見方・使い方講座

大阪商工会議所は、「強い会社を作る経営幹部の数字の見方・使い方講座」を開催する。

数字に弱い経営幹部・管理職が多いと、企業は客観的な議論ができず、現状を見誤ってしまい、経営において次の一手を打つことができなくなる。

同講座では、なぜ「数字力」が必要なのか、どこの「数字」をどのように見ればいいのかを詳しく解説し、経営者・経営幹部・管理職が身に付けておきたい経営に生かせる「数字力」を、感覚的、体感的に強化することを目指す。講師は、御堂筋税理士法人の隣友也税理士。12月11日午前10時～午後５時。

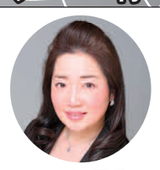

隣友也氏

期待を上回る成果を上げ、リーダーとしての価値を磨く！
次世代女性リーダー育成講座

大阪商工会議所は、「次世代女性リーダー育成講座」を開催する。

次世代の女性リーダーに身につけてほしい「マインド」「スキル」を学ぶことで、勇気と自信を抱き、期待を上回る成果を上げ、質の高い仕事ができるリーダーを目指す。

後進のロールモデルとなる女性リーダーとして表彰された「大阪サクヤヒメ表彰」受賞者が講師を務める。


中越味子氏

講師は、アビリートの中越味子代表取締役。来年１月13日午前10時～午後５時。

会社の新規事業を任せられてお困りではありませんか？
新規事業のつくり方・事業計画の立て方講座

大阪商工会議所は、「新規事業のつくり方・事業計画の立て方講座」を開催する。

継続的な成長のためには新事業の開拓が欠かせないが、どう始めればいいか悩む方は多い。

同講座では、新事業を立ち上げ、運営するための全体システムを知り、周囲を巻き込むストーリー性のある事業計画書の作り方を学ぶ。そして、新事業に取り組む際の心構えを半日で会得する。


杉田英樹氏

講師は、ゼータコンサルティングの杉田英樹代表取締役。来年１月14日午後１～５時。

Photoshopの基本操作を習得し、画像編集をマスターする!
Ｐｈｏｔｏｓｈｏｐ基本講座

大阪商工会議所は、グラフィックソフト「Photoshop基本講座」を開催する。

同講座では、定番の画像加工ソフトであるPhotoshopの基本操作を１日で学ぶ。画像解像度、カラーモード、保存形式等の画像ファイルに関する一般的な用語を解説し、Photoshopによる画像合成、色調補正、画像の切り抜き、レタッチの基本を身につける（ＰＣ・ソフトは会場で用意）。

講師はＴｏｏ専属講師。来年１月15日午前10時～午後５時、江戸堀ヤタニビル（大阪市西区）で。

❑伝わるビジネス文書＆メールの書き方講座
～基本・応用・実践の３ステップで分かりやすく学ぶ！

大阪商工会議所は、「伝わるビジネス文書＆メールの書き方講座」を開催する。

「誰が読んでも正確に伝わる文書を書く力」は必要不可欠なスキルだが、学ぶ機会がないまま仕事に就く方は多い。

同講座では、「相手に伝わり成果が上がる文書力」にねらいを定め、基本マナーからワンランク上の書く技術までを、演習を通して実践的に学ぶ。

日　時　11月11日10：00～17：00
講　師　ビジネスプラスサポートの菓子田圭子人財育成プロデューサー

❑労働・社会保険実務の基礎講座　実践編・秋＜全２回＞
～人気プログラムにつき秋にも開催！演習を交えながら実務を習得！

大阪商工会議所は、「労働・社会保険実務の基礎講座　実践編・秋＜全２回＞」を開催する。

採用から退職までの手続き、異動や変更時の対応、各保険料の徴収事務、重要な給付の申請など、年間を通じて行う業務について、申請用紙などを用いた演習や実際の書式例を交えて実務を習得する。受講後も使える豊富なテキストが好評の人気講座。

日　時　11月12、19日（全２回）両日とも13：00～17：00
講　師　升谷社労士事務所の升谷浩樹所長

自社紹介コーナー　会員情報プラザ

当欄は、大商会員の自社紹介コーナーです。掲載内容の照会は、各社・団体へお願いします。また、取引は当事者間の責任で行ってください。

❑現場課題を形に

㈱システムアイ
☎06・6390・8808

製造業向けCAD／CAMソフトウェアを自社開発しています。設計から加工までを支える製品開発に加え、お客様ごとの運用に合わせたカスタマイズにも対応。現場の声をもとに、材料・残材管理など新たな課題解決システムの開発にも取り組んでいます。

❑建設現場の内業をサポート

阪奈土木
☎06・7777・6712

阪奈土木では建設現場の内業全般を行っています。図面修正や横断図作成、道路使用許可などの各種申請書類、出来形書類の作成を代行。さらにTRENDPOINT等を活用した最新の3Dデータ処理にも対応し、現場のICT化を強力にバックアップします。

初めまして！新入会員です

当欄は大阪商工会議所に新たに入会された会員紹介のコーナーです。掲載内容の照会は、各社・団体へお願いします。また、取引は当事者間の責任で行ってください。

❑企業の成長を支える人材育成

エデュテックコネクト㈱
☎06・7653・2451

実務に直結する人材育成の実現に取り組んでいます。
IT・DX領域を中心に、実務で活かせる教育を提供し、継続的な成長をサポートしています。

❑集客・販促・入札を支援

㈱アド・リード
☎06・6631・8170

1999年創業。LINEによるリピーター獲得、グルメサイトでの新規集客、官公庁・自治体の入札情報サービスまで、企業・店舗の集客・販路拡大を幅広くサポート。

❑音声ペンと独自教材で学ぶ中国語

㈱日中総合学習学院
☎06・6940・7185

上海で22年の実績！大阪で開校しました。独自の教材と専用音声ペンで、自宅でも正しい発音が身に付きます。

❑女性の力を組織の資源に

㈱ＨＡＮＡＥＭＩ
☎050・3562・6589

女性特有の健康課題の視点から、女性活躍・健康経営につながる職場づくりを支援。職場の現状を把握し、課題を分析。研修を含め、各社に合わせた取り組みをご提案しています。女性従業員だけでなく、管理職による適切なラインケアの実践に最も力を入れています。

❑通報窓口を構築から運用まで

㈱Ｄｒｏｐ
☎050・3612・7954

内部通報窓口の設置に悩む中小企業向けに、匿名通報アプリとAI分析を用いた窓口サービス「coe company」を運営。窓口の設計から受付・分析・報告まで一貫して支援しています。

❑店舗の集客をサポートします

㈱カンリー
☎0120・93・3486

当社は店舗ビジネスの集客支援に特化し、全国13万店舗を支援しています。AIやデジタルを活用したサービスで、店舗の集客・運営をサポートいたします。

若手の育成・定着に　講演会と見学会

明治以降、大阪を舞台に活躍した企業家たちの「企業家精神」を伝える大阪企業家ミュージアムは、人材育成・研修の場として多くの企業に利用されている。

同ミュージアムは12月３日、採用・育成担当者を対象にセミナーと見学会を開催する。キャリア支援や企業の人材採用・育成支援で定評があり、豊富な講演実績を持つパーソナルヴィジョン研究所の今恒男氏が、若手従業員の人材育成・定着について話す。セミナー後は、同ミュージアムの活用事例を紹介するとともに館内見学の機会を提供する。

午後３時～４時30分、同ミュージアムで。

【問合せ】大阪企業家ミュージアム☎4964・7601

▼詳細はこちら

ＡＩで経営・現場を変える　12月９日から配信

大阪商工会議所は、チェンバーカレッジと題して、注目度の高い様々なテーマに関する講演をユーチューブで配信する。

近年、ＡＩ（人工知能）が実世界で認識・判断・行動する「フィジカルＡＩ」が注目されている。同講演では、フィジカルＡＩの基礎から最新技術と社会実装の現状、さらに人手不足や技能継承といった中小企業の課題に対し、ＡＩとロボットが経営や現場をどのように変えていくのかを紹介する。講師はセットアイエンジニアリングの名倉誠代表取締役。

配信期間は12月９～23日。

【問合せ】研修・採用支援担当☎6944・6499

▼詳細はこちら

ＡＩ 現場活用のリアル

＜最終回＞

正しく使い心強い味方に

ＡＩの注意点と今後の可能性



大阪商工会議所
経営相談室　専門相談員
鈴木　克彦 氏
一般社団法人ＩＴＣサポーターズ代表理事
デザインエッグス代表
ＩＴコーディネータ

全5回にわたってお届けしてきた「中小企業のＡＩ（人工知能）活用」も今回が最終回です。最後は生成ＡＩを活用する上で知っておきたい注意点と、今後の可能性についてお伝えします。

■注意点① ハルシネーション

生成ＡＩは非常に便利なツールですが、出力される情報が必ずしも正確とは限りません。もっともらしい文章で、事実と異なる情報を生成することがあります。これを「ハルシネーション（幻覚）」と呼びます。生成ＡＩが作成した文章や数字は、必ず人の目で確認する習慣が大切です。

■注意点② ＡＩは否定しない

生成ＡＩは利用者の気持ちに寄り添い、肯定的に反応する傾向があります。「この計画どう思う？」と聞けば、問題のある計画でも「良いと思います」と答えることがあります。ＡＩの意見を参考にしながらも、最終的な判断は必ず自分自身で行うことが大切です。

■注意点③ 個人情報・機密情報

生成ＡＩの入力画面に、顧客の個人情報や社内の機密情報を入力することは避けてください。入力した内容がＡＩの学習データに使われる可能性があります。社内ルールを定め、入力してよい情報と、してはいけない情報を明確に区別することが重要です。

■注意点④ 著作権への配慮

画像生成ＡＩや文章生成ＡＩの途中にあります。ここ数年で驚くほど便利になりましたが、技術の進歩は今も止まっていません。数カ月ごとに新機能が追加され、できることの幅が広がり続けています。これからどのような世界が広がっていくのか、その可能性を見ていきましょう。

■今後の可能性① 業務のさらなる自動化

近い将来、複数の業務を自動でつなぎ合わせる「ＡＩエージェント」の活用が中小企業にも広がると予測されています。指示を一つ出すだけで、調査・文章作成・送信までを自動でこなす時代がすぐそこまで来ています。

■今後の可能性② バイブコーディング

プログラミングの知識がなくても、やりたいことを言葉で伝えるだけでシステムやアプリが作れる「バイブコーディング」が注目されています。自社専用の業務ツールを外注せず、自分たちで作れる時代がすでに始まっています。

■今後の可能性③ ＡＩ組織という新しい働き方

人間とＡＩが役割を分担しながら協働する「ＡＩ組織」という概念が広がりつつあります。単純作業や情報整理はＡＩに任せ、人間は創造性や判断力が必要な仕事に集中する――。そんな働き方が中小企業にも浸透していくでしょう。

■まとめ

生成ＡＩは正しく使えば、中小企業にとって心強い味方になります。できることから一つずつ試してみてください。全5回のご愛読、ありがとうございました。生成ＡＩの活用についてご不明な点やご相談がございましたら、大阪商工会議所経営相談室ＩＴ担当まで、お気軽にご連絡ください。

▼専門相談の案内はこちら

ＡＩ検索時代の店舗集客

「選ばれる」ためのポイント解説

大阪商工会議所は12月17日、「ＡＩ検索時代の店舗集客セミナー＆相談会」を開く。

近年、ＡＩ（人工知能）に「おすすめのお店」を尋ねた際、回答の約69％がグーグルの店舗情報を根拠にしているというデータがある。ＡＩの推薦理由と口コミの内容が一致する割合も高く、グーグルマップの店舗情報と口コミが、ＡＩから選ばれるかを大きく左右している。ＧＭＯ ＴＥＣＨの布村優太氏が登壇。最新データをもとに、ＡＩ検索時代に店舗が「見つけてもらう」「選ばれる」ために今すぐ取り組むべきポイントを分かりやすく解説する。

セミナー後は、個別相談会を実施。パソコンの画面を見ながら、その場で「まずできること」に取り組む実践の時間も設ける。起こすべきアクションが分からない事業者に、最初の一歩を踏み出す機会を提供する。午後1時30分～3時30分、大商で。

【問合せ】流通・サービス産業部☎６９４４・６４４０

▼詳細はこちら

台湾ファッション市場の販路開拓

最新動向と進出戦略

大阪商工会議所は11月20日、「大阪ファッション産業振興フォーラム」の事業として「第2回繊維海外販路開拓セミナー～台湾編」を開く。

ファッション領域に特化し海外展開支援を多数手がけるワールド・モード・ホールディングスの松本眞人・執行役員グループ事業推進部部長兼国際事業推進課課長が「台湾」をテーマに販路開拓を成功へ導くマインドと実践ノウハウについて講演。2020年に台湾・新光三越の董事長を務め、現在は日本ブランドの台湾進出を支援するコンサルタントとして活躍するＴＪＩＰインターナショナルの村上英之代表取締役を交えてトークセッションも実施。台湾市場の最新動向と進出戦略を、豊富な知見とともに届ける。午後3～5時、大商で。セミナー参加者は12月2日のオンライン個別相談会に参加可能。

【問合せ】流通・サービス産業部☎６９４４・６４９３

▼詳細はこちら

「長期エネルギー貯蔵」がテーマ

技術の全体像と事業機会探る

大阪商工会議所は11月12日、次世代産業における新ビジネス創出を促進する『次世代テックフォーラム』の新エネルギー防衛・防災クラスター合同会議」を開く。

再生可能エネルギーの拡大や電力需要の増加、災害時の非常用電源ニーズを背景に必要性が高まる「長期エネルギー貯蔵（ＬＤＥＳ）」をテーマに事業機会を探る。

基調講演では、三菱総合研究所電力・エネルギー本部の長谷川功・デマンドサイドイノベーショングループリーダーが、ＬＤＥＳの必要性が高まる背景や主要な技術方式の特徴を解説する。

事例発表では、液化空気エネルギー貯蔵の商用化に取り組む住友重機械工業、砂利蓄熱技術などの技術開発を行うＥＳＲＥＥ Ｅｎｅｒｇｙが登壇。具体的な取り組みや今後の展望などを発表する。適用領域やコスト、サプライチェーンが異なるＬＤＥＳにおいて、新たな事業機会を探る絶好の機会。午後2～5時、大商で。

【問合せ】産業・技術振興担当☎６９４４・６３００

▼詳細はこちら

カナダ市場進出へ商談会

レストラン・食品販売事業者と

大阪商工会議所は、12月22～23日、カナダ・バンクーバーで、炙り寿司を中心とした高品質な和食レストランや食品販売事業を展開する「Aburi Restaurants Canada Ltd.」とのオンライン個別商談会を開く。

近年、カナダでは、日本食をはじめとするアジア食品への関心が高まっており、日本産食品の輸出先として有望な市場として注目されている。

こうした中、同社が運営する「Aburi Market」などへの販路開拓に向け、北米でまだ広く流通していない高付加価値な加工食品・飲料・冷凍食品をはじめ、レストラン向けの業務用食品や訪日外国人に人気の雑貨商品などを希望する。

カナダ市場への輸出や現地での販路開拓を目指す企業にとって、現地バイヤーと日本語で商談できる貴重な機会。

【問合せ】国際部☎６９４４・６４００

▼詳細はこちら

専門家がアドバイス

大阪商工会議所は大阪府内の中小企業や創業希望者を対象に、弁護士、社会保険労務士、税理士、中小企業診断士など専門家による相談窓口を開設している（表）。相談は面談・電話とも可。

【問合せ】経営相談室☎６９４４・６４７２

▼詳細はこちら

2026年度　専門相談

分野	曜日	時間
◎法律	月～金曜日	午後2～4時
◎人事労務・メンタルヘルス対策	火・水・木曜日	午前9時30分～正午
◎経理・会計、税務	月・金曜日	午後1～4時
☆新事業開発・創業	月～金曜日	午前10時～正午、午後1～4時
☆ＩＴ（情報技術）	水曜日	午後1～5時
☆ものづくり・技術	第4週木曜日	午後1～5時
☆営業・マーケティング	第2・4週火曜日	午後1～5時
金融	火・木曜日	午前9時～正午、午後1～5時
取適法、独占禁止法	第1木曜日	午前10時～正午
知的財産（特許、商標、意匠など）	日時、場所は調整のうえお知らせします	

＜相談回数＞◎印の分野は、それぞれ１年度につき５回まで。☆印の分野は、当該分野間をまたいで１年度につき合計５回まで。※曜日、時間を変更する場合あり。※大阪府の補助金「小規模事業経営支援事業費補助金」を受けて実施。

11月14、15日は「関西文化の日」

大阪企業家ミュージアムは「関西文化の日」に協力し、11月14、15日を入館料無料で開館する。五代友厚や広岡浅子、鳥井信治郎ら総勢１０８人の企業家が抱いた高い志、創意工夫、旺盛な挑戦心に触れることができる機会。

「関西文化の日」とは、参加登録した関西の美術館などの入場料が各館指定の期間無料となるもの。関西広域連合、関西元気文化圏推進協議会、関西観光本部が主催。

【問合せ】大阪企業家ミュージアム☎４９６４・７６０１

▼詳細はこちら

プロならではのコツを紹介

東淀川まちゼミ

全12講座 11月開催



お店の店主が講師となり、プロならではのコツや考え方を伝授する

大阪商工会議所北支部（支部長＝寺内俊太郎・大阪冶金興業社長）は、東淀川区商店会連盟、東淀川区と協働し、「第９回東淀川まちゼミ」を11月1～30日に開く。

「まちゼミ」は、お店の店主が講師となり、プロならではのコツなどを無料で紹介する少人数講座を各店で行う事業。「薬膳茶のつくりかた」「ソフトボールピッチング講座」「家の片づけ、その後の動き方」など、全12講座が行われる。

【問合せ】北支部☎６１３０・５１１２

▶詳細はこちら

セミナー・イベント

◆ＥＰＡ利用勉強会 繊維編

経済連携協定（ＥＰＡ）の利用（特定原産地証明書の取得）までの考え方や手続きの流れを解説する。今回は繊維分野にフォーカスし、企業の実務担当者が理解すべき手続きのプロセスや注意点について、これまでの相談事例などの実例を交えて学ぶ機会。

講師は大阪商工会議所国際部の孫康忠課長。

日　時　11月10日９：30～12：00
場　所　大阪商工会議所
問合せ　国際部
☎6944・6411

◆仕事ですぐに使える／実践／グローバルビジネス英会話講座

対面・オンラインの会議やプレゼンテーション、ディスカッションでのコミュニケーション術といったビジネスにおける英語スピーキングの基礎を実践演習とロールプレイで学ぶ。講師はイー・グローブの島村東世子代表取締役。

日　時　12月２日10：00～17：00
場　所　大阪商工会議所
問合せ　国際部
☎6944・6411

部　会
大商会員限定

◆マテリアル、機械、化学・エネルギー３部会合同視察会～北九州で学ぶ、イノベーション最前線

「フィジカルＡＩ」「次世代エネルギー」「先進ものづくり」などをテーマに５社を巡る。来年１月26日は安川電機と次世代エネルギーパークを見学。同27日は松本工業・豊前工場、戸畑製作所、ＴｒｉＯｒｂ・八幡オフィスを見学予定。部会員限定。

日　程　来年１月26～27日（１泊２日）
場　所　ＪＲ小倉駅で集合・解散
問合せ　産業・技術振興担当☎6944・6300

検定試験　受験対策講座
検定担当　☎6944・6430

◆日商簿記２級講座
＜本町教室平日コース＞
日　時　12月７日～来年３月25日（全26回）18：30～21：00
場　所　ミライフ本町教室（大阪市中央区）

◆日商簿記２級講座
＜本町教室土曜コース＞
日　時　12月12日～来年３月13日（全12回）10：00～12：30／13：30～16：00（原則、１日２コマ。７回と12回のみ３コマ目の16：10～18：40あり）
場　所　ミライフ本町教室（大阪市中央区）

◆日商簿記３級講座
＜本町教室平日コース＞
日　時　12月15日～来年２月19日（全16回）18：30～20：50
場　所　ミライフ本町教室（大阪市中央区）

◆日商簿記３級講座
＜本町教室日曜コース＞
日　時　12月20日～来年２月21日（全８回）10：00～12：20／13：00～15：20（１日２コマ）
場　所　ミライフ本町教室（大阪市中央区）

◆日商簿記３級講座
＜新大阪教室土曜コース＞
日　時　12月19日～来年２月20日（全８回）12：00～14：20／14：30～16：50（１日２コマ）
場　所　ミライフ新大阪教室（大阪市淀川区）

◆ビジネス会計検定　２級受験対策WEB講座　【オンデマンド配信】
開講期間　来年３月26日まで
＜視聴可能期間16週間、全21講座（約９時間）＞

◆ビジネス会計検定　３級受験対策WEB講座　【オンデマンド配信】
開講期間　来年３月26日まで
＜視聴可能期間12週間、全18講座（約8.5時間）＞

大阪勧業展に9080人来場

異業種企業との思わぬ出会いも

大阪商工会議所、堺商工会議所、大阪府商工会連合会は、大阪府内すべての商工会議所・商工会と連携し14～15日、マイドームおおさか（大阪市中央区）で「大阪勧業展2026」を開いた。21回目となる今回は、360企業・団体が出展。来場者は2日間で9080人に上った。

新規での出展は124企業・団体。業種別ではサービスが67社（前回61社）、紙・印刷が31社（同19社）、建設・建材が19社（同14社）と増加。近年見られた金属、機械・器具・部品への出展者の集中がやや薄れ、幅広い業種に出展者が分散する傾向となった。

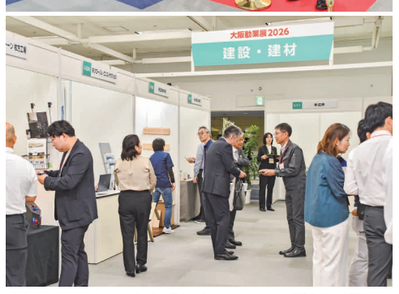
開会式では、黒田章裕副会頭が「万博で示された新しい技術やサービスが次の段階へ動く『万博のその先』を考えるうえでも、本日の大阪勧業展は重要な場だ。多業種型総合展示商談会は、普段は関係が薄い異業種企業との思わぬ出会いが特色であり、それをサポートするため追加したAI（人工知能）チャットボットを、マッチングに活用してほしい」とあいさつした。

出展者からは「図面や具体的な話があった」「出展者同士で取引先を紹介していただいた」「工場訪問する話があった」「見積もりや商談の予定が決まった」「普段、関わることの無い企業様と知り合うことができた」「サンプル加工のお話がある」などの声があがった。

来場者からは「次回開催時も参加したい」「出展に興味がある」などの感想が寄せられた。

【問合せ】流通・サービス産業部☎6944・6493





㊤テープカットに臨む大商の黒田章裕副会頭（左から４人目）と山本博史流通活性化委員長（左端）ら㊦出展者と来場者との交流でにぎわった＝いずれも14日、大阪市

大商のがんばる会員さんを紹介します！

紙の設計技術で広がる遊び空間



コミュニケーションを育むダンボール遊具

こふれ（住之江区、北中正紀代表取締役）は1973年に創業。大阪南港ＡＴＣに事務所を構える、パッケージデザインや販促什器の企画・設計を行うデザイン会社。紙の特性を活かした設計技術で、商品の魅力を伝えるパッケージを提案している。

この技術を応用した子ども向け遊具としてダンボールドームや専用のオリジナルボルト・ナットも独自開発した。ボルトにはパナソニック製の植物由来高機能素材「kinari」を採用し、環境配慮と強度を両立。工具不要で簡単に組み立てができ、繰り返し利用できる設計で、安全性と施工性を高めた。キッズプラザ大阪などのイベントや施設で活用されており、北中氏は「今後も紙の可能性を広げる製品を提案していきます」と語る。

サーフィン好きが営むスタイリッシュで心地よいアパレルショップ



TURN ME ON®のフルラインが揃う直営店と三石代表

ステイルウォーターインク（西区、三石能隆代表）は、自社アパレルブランドである「TURN ME ON®」のデザインおよび卸小売を行っている。

三石代表は19歳からサーフィンを始め、世界各国の海でサーフィンに没頭してきた経験から、サーフカルチャーや欧米の空気感がブランドのベースとなっている。スタンダードかつシンプルなデザインをコンセプトに、自然の中にいるような心地良い素材感を追求。丁寧な縫製で、シルエットも美しく、シンプルでありながら都会的で洗練されたスタイルを実現している。海辺で過ごす時も、街中を歩く時も、スタイリッシュで心地良く過ごすことができ、着る人のライフスタイルに寄り添うような服作りを心がけている。

鳥井会頭が新事業共創プラットフォーム紹介

万博閉幕1周年記念イベントで

大阪・関西万博閉幕1周年記念イベント「EXPO2025 Futures Summit」（主催＝公益社団法人2025年日本国際博覧会協会）が13日、NHK大阪ホール（大阪市中央区）で開かれた。

万博の公式参加者や出展者など、招待者約100人が集い、大阪商工会議所からは、鳥井信吾会頭らが出席した。

鳥井会頭は大阪・関西万博のレガシーの広がりをニュース番組風に紹介するプログラム「EXPO2025 FUTURES NEWS」に登壇。大阪ヘルスケアパビリオンに432社が出展したリボーンチャレンジ」の取り組みを踏まえ、中小企業やスタートアップの社会実装を支援する仕組みとして、京都、神戸商工会議所とともに「新事業共創プラットフォーム」を立ち上げたことを紹介した。

万博を振り返るパフォーマンスや万博プロデューサーらによるプレゼンテーションも行われ、それぞれの未来への取り組みを共有した。

第2部では、閉幕1周年記念レセプションが帝国ホテル大阪（大阪市北区）で開かれた。

【問合せ】地域振興部☎6944・6323



「EXPO2025 FUTURES NEWS」に登壇する大商の鳥井信吾会頭（中央）ら＝13日、大阪市

女性起業家に学ぶ交流会

次回は来年2月13日

大阪商工会議所は、女性の起業促進やスケールアップを目的に、ロールモデルとなる女性起業家を招へいした「ダイアローグ&交流会」を年4回開催している。

3日に開いた第3回は、ウクライナ出身で大学在学中に起業、女性の健康課題をAI（人工知能）・データで解決する事業を展開するFloraのアンナ・クレシェンコCEOを講師に、しゅうめいの松田政美代表をモデレーターに迎えた。

トークセッションでは、激変する時代の中でビジネスモデルを何度も転換（ピボット）した背景や、国内外でチームを構築しグローバルに展開する仕組み、さらには日本企業へ導入を推進したプロセスや、起業家として求められる「覚悟」といったマインドセットに至るまで、深く率直な対話が交わされた。

第4回は、来年2月13日に開催予定。講師は、実身美の大塚三紀子代表取締役。2002年に大阪で創業した玄米と野菜中心の健康カフェ「実身美」は、現在東京・沖縄へも展開している。店舗運営にとどまらず、大学との共同研究による玄米食を通じた新たな取り組みを進めている。

【問合せ】経営相談室☎6944・6472



講師のアンナ・クレシェンコ・FloraCEOとモデレーターの松田政美・しゅうめい代表が登壇した＝3日、大阪市

「開業スクール」に33人

受講者がビジネスプラン発表

大阪商工会議所は、開業前および開業間もない方を対象とした「開業スクール」を8月22日から計5回開催し、33人が受講した。

創業・経営に必要となる幅広い知識やノウハウを学び、受講生が自身のビジネスプランを具体化し、ブラッシュアップする。講義やワークを通じてビジネスを多角的に捉え、最終的にはそれぞれのビジネスプランを発表した。

受講生からは、「様々な方とつながり、創業に関する知識が増えた」「創業前には、リサーチやマーケティング、ブランディングをしっかりと考えることが重要だと分かった」「様々な角度から自身のビジネスを見直すことができた」との声が寄せられた。

9月12日には、大阪企業家ミュージアムを訪問。先輩企業家たちの挑戦、イノベーションについて学び、企業家精神に触れた。受講生からは「先輩企業家も数々の失敗を経験して成功をつかんだことを知り、自分も挑戦していこうと励みになった」との声があった。

大商は今後も、優秀なビジネスプランを府内のビジネスプランコンテストに推薦するとともに、資金調達や販路開拓など、企業経営にあたって生じる課題の解決に向けて、伴走支援を行う。

【問合せ】経営相談室☎6944・6472



大阪企業家ミュージアムで記念撮影する「開業スクール」受講者＝9月12日、大阪市

ミラノとウッチへのビジネスツアー

大阪の事業機会をPR

視察と個別商談も実施

大阪商工会議所は5～9日、大阪市と共同で「イタリア・ミラノ市へのビジネスツアー」「ポーランド・ウッチ市ビジネスツアー」を実施した。ミラノ市へのビジネスツアーは、貿易部会の岡広史副部会長（伊藤忠商事常務理事）が参加し、現地で開催した大阪プロモーションセミナーで、大阪のビジネスポテンシャルを紹介したほか、ミラノ市長への表敬訪問やミラノ万博跡地の再開発プロジェクトであるMIND（ミラノイノベーションディストリクト）の視察などを行った。

イタリア・ミラノ市と大阪市は今年、姉妹都市提携45周年を迎える。大商とミラノ商工会議所も1988年に協力合意書を締結しており、両地域間の交流は現在も密接に行われている。

5日に実施した大阪プロモーションセミナーには、両国関係者含め、90人が参加。岡副部会長の挨拶し、大阪・関西エリアの高度なものづくり基盤、ヘルスケア産業の集積するイノベーションハブに転換した重要ビジネス拠点である。最近では、日本の大手航空メーカーが拠点を設置するなど世界的にも注目が集まる。

昨年、大阪・関西万博を契機に大阪市と経済交流に関する覚書を締結しており、今後、大阪・ウッチ両地域の企業間交流を促進するため、今回のビジネスツアーを実施した。

ここでも、在阪企業含む日本企業4社が聴講者90人にショートピッチを行ったほか、個別商談も実施した。併せて、ウッチ市長、ウッチ経済特区社長などとの懇談会も開催。同市の歴史やビジネスポテンシャルなど、欧州市場を見据えた事業展開の理解を深めた。参加企業からは「治安も良く、優秀な人材も多いため、高いポテンシャルを感じた」などの声が聞かれた。

大商は引き続き、今回の訪問を通じて築いた官民ネットワークを活用し、会員企業の欧州展開支援事業に取り組む。また、インド経済視察団（11月）や米国・ラスベガスで開催される展示会CESへの共同出展（来年144・6400

【問合せ】国際部☎6944・6400





㊤ミラノ工科大学で大阪とミラノの産学連携について意見交換し記念撮影をする大商の岡広史貿易部会副部会長（左端）ら㊦ミラノの工場跡地を活用したビジネスインキュベーション施設を視察する大商の岡広史貿易部会副部会長（右端）ら＝いずれも5日、ミラノ

カナダからビジネス代表団

日本側39人と交流

大阪商工会議所は1日、カナダ商工会議所からビジネス代表団が来阪する機会を捉え、「カナダ商工会議所ビジネスミッション セミナー&ネットワーキング」を開いた。カナダ市場に関心を持つ日本企業などから39人が参加。

カナダ側からは約10人の企業関係者が参加し、各社が自社の事業内容や日本企業との連携に向けた期待などを紹介した。続いて、カナダ商工会議所から、カナダ市場の概況や最新の貿易動向について説明が行われた。その後のネットワーキングでは、参加者とカナダ企業による活発な意見交換が行われた。

参加者からは、「ビジネスの可能性のある企業と出会えた」「米加貿易摩擦の影響を踏まえ、日本との貿易拡大に向けた取り組みに期待したい」などの声が寄せられた。

【問合せ】国際部☎6944・6400



「カナダ商工会議所ビジネスミッション」でセミナー講演をするカナダ商工会議所の役員＝1日、大商

中小企業の事業引継ぎ ハンズオン支援

大阪商工会議所は、中期計画「共に創る やってみなはれ！ 大阪プラン」の中で「中小企業の事業承継支援」に取り組んでいます。
問合せ　事業承継・再生支援担当
☎6944・6257

技術を未来へつなぐ第三者承継

福島製作所と光伸

電気による熱風を利用した「ろう付け」技術を持つ福島製作所（守口市）は、後継者不在を背景に第三者承継を進め、2026年７月17日、八尾市の光伸との吸収合併により新たなスタートを切った。

承継を考えるきっかけの一つは、顧客からの「２人でやっているのですか」という言葉だった。技術には自信があっても、少人数では会社の継続性に不安を持たれる。「会社名より、長年培った技術を次世代へ残したい」と第三者承継を決断した。

売り手側のM＆A支援はM＆Aイノベーションの西下純平氏が担い、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターでは田坂駿佑サブマネージャー（SM）が相談窓口となった。安井重樹氏は、公的機関であることに加え、田坂SMが弁護士であったことにも安心感があり、「いいところに相談した」と振り返る。

複数候補との面談を経て光伸との協議が進展。光伸は福島製作所の商談にも参加し、顧客からの技術評価や安井氏との信頼関係を直接確認した。この“一緒に仕事をする”過程が双方の不安を和らげ、信頼を深めた。

合併後も安井氏らは勤務を続け、光伸の若手社員へ技術や顧客との関係を承継。「人」と「技術」を未来へつなぐ第三者承継の好例となっている。



（右から）元福島製作所の安井重樹氏、光伸の後藤晋司社長、M＆Aイノベーションの西下純平氏、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターの田坂駿佑SM

あさつゆ愛のぶどう園

観光農園の実りを次世代へ

農業経験ゼロから育てた観光農園

「後継者はいないが、取引先や従業員に迷惑をかけたくない。アドバイスしてほしい」「他の事業を受け継ぐことにより新分野に進出したいと考えているのだが」――こうした相談を受けているのが「大阪府事業承継・引継ぎ支援センター」。同センターは、大阪商工会議所が国の委託を受けて設置・運営している。ここでは事業承継の事例を紹介する。

農業経験ゼロから始め、20年かけて育ててきたぶどう園を次の世代へ――。岸和田市内で観光農園を営む脇田勝之社長は今、栽培技術だけでなく、顧客との信頼や現場の知恵、農園への思いまで含めた事業承継を進めている。後継者は、同農園で5年間勤務してきた園田弥紗子氏。大阪府事業承継・引継ぎ支援センター（現・大阪府事業承継・引継ぎ支援センター）が両者の間に入り、来年1月の本格的な承継に向け準備を進めている。

脇田社長は、もともと農業とは縁のないサラリーマンだった。次女の「一緒にやらないか」という一言をきっかけに、貝塚市の農園で5年間働きながら栽培技術を習得。試行錯誤を重ね、現在では20年という節目を迎え、課題となったのが「誰に、どのように託すか」だった。後継者の園田氏は、栽培だけでなく経理事務にも携わり、農園を支えてきた。手書き伝票中心だった注文管理をデジタル化し、SNSで情報発信にも力を入れるなど、新しい取り組みも進めている。今後は大粒品種を含む複数品種の食べ比べを楽しめる農園づくりを進め、将来的には雇用を増やし、岸和田のぶどうをより広く知ってもらいたいと考えている。





▲「あさつゆ愛のぶどう園」の脇田勝之社長（左）と後継者の園田弥紗子氏▼脇田社長が園田氏にぶどう栽培を指導する＝いずれも岸和田市

▽創　業　2006年
▽所 在 地　大阪府岸和田市畑町
▽事業内容　観光農園

「言わなくても分かる」が承継では難しい

長年一緒に働いてきた二人だが、承継の話を始めると、何を譲渡するのか、従業員の雇用、譲渡対価、農地の扱いなど、さまざまな課題が浮び上がった。近い関係だからこそ遠慮が生まれ、本音を言葉にしにくい場面もあった。

そこでセンターが「対話の交通整理」を担った。設備、果樹、顧客、従業員、農地など、引き継ぐものを一つずつ確認し、譲渡対価や税務、支払方法についても双方の認識を整理。農地法上の手続きも確認し、2026年5月には基本合意書を締結した。2026年中は伴走期間として一緒に運営し、2027年1月に事業譲渡契約書を締結する予定である。

第三者が「真ん中に寄せる」

園田氏はセンターの支援を「それぞれ外を向いていたものを、真ん中に寄せてもらったような感じです」と振り返る。第三者が双方の思いを整理して伝えることで対話が進み、園田氏自身も「自分がこの農園を引き継ぐ」という覚悟を固めていった。

思わぬ危機が育てた「経営者の覚悟」

その伴走期間中、園田氏に大きな試練が訪れた。薬剤変更時の共有と確認が十分でなかったことから薬害が発生し、さらに長雨もうどんこ病につながり、販売できるぶどうが大きく減少した。

園田氏はスタッフ一人ひとりに事情を説明して謝罪。傷のあるぶどうは訳あり品として販売するほか、ジュースやアイス、クラフトビールへの加工も検討した。薬剤や希釈濃度の書面確認、重要事項の共有、作業記録など再発防止策も整えた。失敗に向き合い、説明し、次の対策を考える経験は、経営者としての覚悟を一段深める機会となった。

技術だけでなく「お客様」も引き継ぐ

現在も脇田社長は農園に立ち、栽培技術に加えて「このお客様はこの品種が好き」「毎年この時期に注文してくださる」といった顧客一人ひとりの情報も伝えている。20年かけて築いた顧客との信頼関係も、次世代へ渡す大切な経営資産だからだ。

「任せたら、とことん任せる」

脇田社長が大切にするのは「任せたら、とことん任せる」こと。ただし、信頼しているからこそ口約束で済ませるのではなく、誰が何を、どの条件で引き継ぐのかを話し合い、必要なことは文書に残す。人間関係と契約の両方を整えることが、承継後の良好な関係につながる。

先代は山へ、後継者は農園の未来へ

引継ぎ後、脇田社長は趣味の登山をさらに楽しみたいという。一方、園田氏は、先代が築いた栽培技術、顧客、信用を守りながら、デジタル化やSNS、新品種、新たな販売方法も取り入れていく考えだ。

事業承継とは、設備や事業を単に「渡す」ことではない。果樹、顧客、仕事の段取り、従業員や地域との関係、そして失敗から得た教訓までを次の世代へつなぐことでもある。ぶどう園では今、2027年1月の本格承継に向け、先代と後継者が丁寧なバトンタッチを進めている。

「事業承継・M＆Aの舞台裏」―支援現場からの本音メッセージ―

第5章

輝く女性経営者、その秘密は？



大阪府事業承継・引継ぎ支援センター
統括責任者
兼田　亜貴

明るさと覚悟で会社を動かす、女性経営者たち

「私が近づくと、すぐ分かるらしいんです」。取引先にそう茶化されたと笑うA社長。明るく大きな声、弾けるような笑い声、そして周囲までぱっと華やぐ雰囲気。彼女が社長に就任してから、職場には笑顔が増えたという。「社長が明るいと会社まで明るくなる」。まさにそんな存在である。

B社長は、会社の財務状況を従業員にオープンに共有している。「どうしたらもっと利益が出るあいあいと話しながら、黒字化のアイデアを出し合う。数字の話でありながら、どこか楽しそうである。社員を巻き込み、前向きな空気をつくるのも彼女の経営スタイルである。

少し前まで、妊娠・出産・子育てと仕事の両立は難しく、ましてや経営などおおさらという空気があった。しかし、時代は確実に変わっている。

先日お会いしたC社の女性後継者は、なんと臨月であった。「子育ては家族に大いに甘えます。早く父のような経営者になりたい」。そう話す表情は、とても晴れやかであった。

センターに着任して以来、多くの女性経営者にお会いしてきた。皆さんに共通するのは、覚悟が定まっていること、迷いが少ないこと、社員を常に気にかけていること、そして堅実で真面目であることだ。そこに、ピンチを笑顔で受け止める度量と温かさが加わる。

大阪らしく言えば「オカンのような経営」だろうか。厳しさの中に愛情があり、人を巻き込みながら会社を前へ進める。そのあたりに、輝く女性経営者の秘密が隠れているように思う。

東京商工リサーチの2025年調査によると、大阪府の女性社長は約6万6000人で、女性社長はおよそ6人に1人という計算だ。今後さらに女性経営者が増え、会社や地域に新たな彩りを添えてくれることを期待したい。そんな未来を楽しみにしている。

▼センターのHP

安心・安全なM＆A実現へ

11月17日　地域連携シンポジウム

大阪商工会議所が設置する大阪府事業承継・引継ぎ支援センターは大阪弁護士会、日本政策金融公庫と共催で11月17日、「安心・安全なM＆Aを実現する地域連携シンポジウム～3つの支援機関と事業者が語る、支援の現場～」を開催する。

地域の事業承継課題や中小企業の成長支援において、スモールM＆Aの重要性が高まっている。同シンポジウムでは、共催の3者が連携し、安心・安全なM＆Aを支える現場の取り組みや実践事例を多角的に紹介する。

基調講演「中小M＆Aガイドラインの最前線」には髭野淳平弁護士が登壇。パネルディスカッション「スモールM＆Aのリアルを語る」には、日本政策金融公庫の高倉洋介氏、大阪弁護士会の中村真二氏、日本政策金融公庫から桑原康臣氏と大野将治氏、シンプルソフトウェア研究所の山元雅宏代表取締役、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターの兼田亜貴統括責任者が登壇する。

シンポジウムは午後2～4時、事業承継相談会は午後4～5時、大阪弁護士会館（大阪市北区）で。

【問合せ】事業承継・再生支援担当☎6944・6257

▼詳細はこちら

大阪府事業承継・引継ぎ支援センター

事業承継支援に精通した専門家が幅広く相談対応

事業承継が円滑に進まなければ、技術やノウハウなど貴重な経営資源や雇用機会が失われることはもちろん、バリューチェーンが寸断されることから地域経済全体に深刻なダメージを及ぼしかねない。こうした事態を打開するため、大阪商工会議所は、「大阪府事業承継・引継ぎ支援センター」を設置し、事業承継に詳しい専門家が幅広く相談に応じている。

同センターの窓口では、親族内承継も含めた事業承継の全体の進め方や後継者不在の場合の事業引継ぎの手法などの相談に対し、事業承継支援に精通した専門家が対応する。

大阪府内に所在する中小企業・小規模企業の以下のような相談に専門家がアドバイスする。例えば、「後継者がいない。今後どのような可能性があるのか」「事業を後継者に継がせるには、どのように進めていけばよいのか」「自社を他の企業に譲渡したいが、どのようにすればよいか」「仮に今、M＆Aに取り組んだとしたら、どのような点が課題になるか」「他社の経営資源を引継ぎ、事業を拡大させたいが…」など。

2011年10月の開設以来、約1万件の相談対応を行い、約700件の事業承継を完了させてきた。

【問合せ】事業承継・再生支援担当☎6944・6257



大阪府事業承継・引継ぎ支援センターは、2011年の開設以来、約700件の事業承継を完了させてきた